

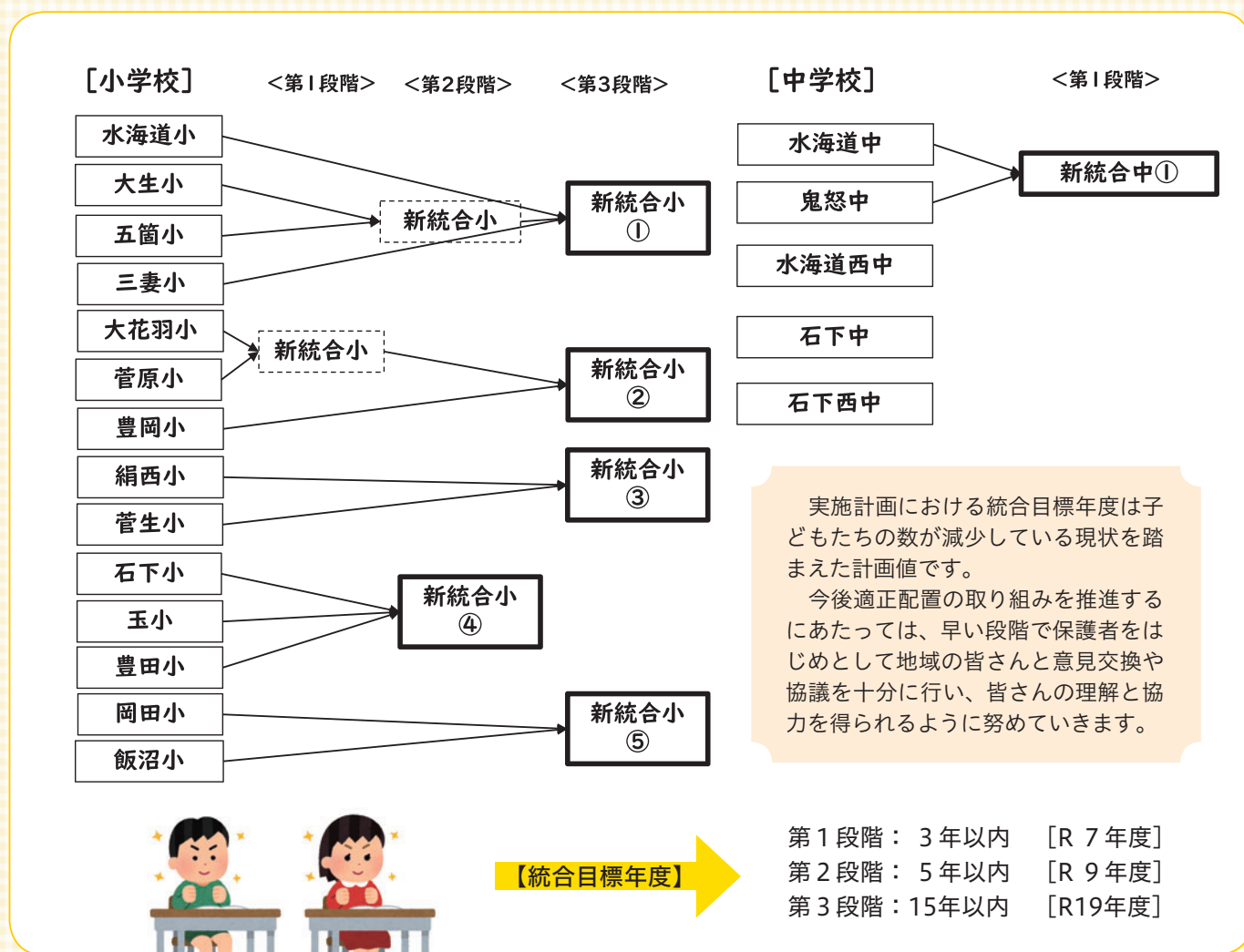
市立小中学校の適正配置

市立小中学校の適正配置について進捗状況をお知らせします。
子どもたちのより良い教育環境を確保するため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



常総市立小中学校適正配置実施計画を策定しました

令和4年3月、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会から「良好な教育環境の確保のため、一定規模の集団規模を確保することが望ましい」との答申を受け、その後、保護者・市民へのパブリックコメントなどを実施し、令和4年5月に教育委員会として実施計画を策定しました。



各小中学校の進捗状況

■大花羽小学校・菅原小学校

関係者との意見交換会や説明会を経て、令和5年4月1日の統合に向け、現在、地域・保護者・学校の協力を得ながら、統合準備委員会を組織し、統合に向けた詳細事項の検討を進めています。

■鬼怒中学校

在校生保護者の方々との意見交換を行い、統合目標時期を令和7年4月1日としました。今後は、段階的に地域の方々を含む関係者の皆さんへの説明を行っていきます。

適正配置のポイント

適正規模

- ・小学校は、クラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上が望ましい
- ・中学校は、クラス替えが可能で、全ての教科の担任が安定的に配置できる9学級以上が望ましい

適正配置

- ・通学距離は、小学校でおおむね4 km以内、中学校でおおむね6 km以内とする
- ・通学時間は、おおむね1時間以内を目安とすることが望ましい

▶検討委員会から次の4つの点に留意するよう答申があり、計画に反映しました。

- ✓社会情勢や児童生徒数の変動などに応じて適切に見直し、具体的な統合時期は保護者と課題を共有し、十分な協議を行うこと
- ✓学校は地域のシンボルであり、歴史的、文化的視点からも地域との結びつきが強い
ため、地域住民と課題を共有し、理解と協力が得られるよう努めること
- ✓学区の広域化による児童生徒への負担に配慮し、安全安心な通学環境の確保に努
め、特に遠距離通学になる児童については、スクールバスの導入も検討すること
- ✓学校施設は可能な限り新しい教育スタイルに合う施設整備を検討すること

検討委員会での協議過程

第1回 令和3年5月

「市内小中学校の現状と適正配置の経緯」

第2回 令和3年5月

「今後の小中学校適正配置の方向性」

「保護者等へのアンケート案」

第3回 令和3年6月

「適正配置の方向性に関する意見交換」

「アンケート案の再検討」

第4回 令和3年11月

「保護者アンケートの結果報告」

「今後の学校適正配置の具体的な取り組み」

第5回 令和4年3月（書面協議）

「第一次答申（案）」

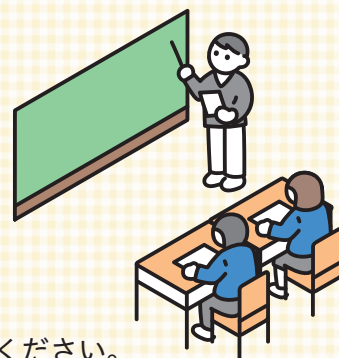
「実施計画（案）」

第6回 令和4年3月

「これまでの経緯と今後の予定」

「常総市立小中学校適正配置実施計画（素案）」

「検討委員会からの答申（案）」



取り組み状況の公表

市のホームページで取り組み状況を公表していますので、ぜひご覧ください。



市ホームページ

◆問い合わせ = ⑥学校教育課（内線8240）